

NPOによるケベックの地域づくり

内藤 朝樹

現在、「埼玉発世界行き」の奨学生としてカナダのケベック州にあるシェルブルック大学のソーシャルサービス学部で学ばせて頂いています。こちらに来る以前、学生アシスタントとして、さいたま市浦和区にありますNPO法人「さいたまユースサポートネット¹」で中退者や外国にルーツを持つ若者、定時制・通信制高校生などへの学習教育支援に携わっていたことと、大学でさいたまNPOセンター代表理事の中村陽一教授にNPO学をご指導頂いたことが縁となり、ケベックにおける非営利組織(NPO)について調査しています。

ケベックではNPOが地域づくりのコーディネーターとして重要な役割を果たしています。数から見ますと、私が学んでいます市でも100以上²、州レベルでは約8000もの組織が存在します³。しかしケベックの人口は埼玉県とほぼ同程度の775万人ですので、いかにNPOが市民に近い存在であるかがこの数から伝わってきます。そのことをさらに裏付けるように、15歳以上の37%がNPOの活動に参加し、年平均活動時間は162時間に上っています⁴。

ケベックにおけるNPOの活動に顕著なのは、非営利組織が地域にある学校、企業、行政などの他の社会資源と有機的に結び付きながら活動していることです。NPOが本来結び付きにくい点と点を線で結び付けるようにして、地域つながりを生みだしていることが、NPO活動が市民の間に広く普及し、市民生活を豊かにしているカギの一つだと思います。(実際にケベックにおける幸福度指数は88%という結果も出ていますので、世界一の幸福度指数で有名なブータンに決して引けを取っていない地域でもあります)

残念ながら紙幅が限られ具体的なNPOの活動内容はお伝えできないのですが、埼玉にもケベックのような豊かなNPO社会になる可能性があることは、既に先駆的な活動をする埼玉のNPOによって明らかにされていますので、そのお手伝いが少しでもできるよう、たくさんのケベックの地域づくりのノウハウを学んで埼玉へ持って帰りたいと思っています。

1 さいたまユースサポートネットホームページ <http://saitamayouthnet.web.fc2.com/index.html>

2 シェルブルックボランティアセンターホームページ 『Foire aux questions』

<http://www.cabsherbrooke.org/fr/foire-aux-questions-benevole/>

(2011年12月6日アクセス)

3 ケベック州雇用および社会連帯省ホームページ『Statistiques sur l' action bénévole』

<http://www.mess.gouv.qc.ca/statistiques/action-communautaire/>

4 同上。



NPO企画の地域でのオールナイト野外フェス



シェルブルックの街並み

留学先:シェルブルック大学 人文社会学部